

平成19年11月5日

平成19年10月6日に予定しておりました神奈川県作業療法士会学術部主催により「実習指導者養成講座」の中止におきましては、参加予定の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。ここに深くお詫びいたします。

講座の実施に先だちまして、受講予定の皆様から講師の沼野一男先生への「実習に関する質問」をいただきまして、質問を提出していただいた皆様には沼野先生より直接回答を送付していただいたのですが、回答の内容を実習指導でお悩みの多くの先生方のご参考にしていただけましたらと思ひまして、今回このような形での広報を企画させていただきました。皆様の実習指導におけるご参考となりましたら幸い思います。

また、今回は質問者の方を匿名とさせていただき、質問に直接関係ないと思われる施設の具体的な紹介につきましても伏字とさせていただきましたので、まことに勝手ながらご了承のほどよろしくお願いいたします。

神奈川県作業療法士会学術部
担当理事 中西浩司
講座担当者 三川年正

前文

病状悪化のためとはいえ、いったんお引き受けした講演を実行できなかったことを深くお詫び申し上げます。しかし、多くの方から質問を戴くことができ、その回答を書くことで責任の一端を果たすことができることを感謝しております。

私の回答についてさらに疑問、質問がおありの場合は、遠慮無く再質問をお願い致します。時間がかかるかも知れませんが、必ずお返事を差し上げます。

個々の質問にお答えする前に、講演で予定していた私の話の内容を簡単に書いておきます。

2007, 10, 5

沼野 一男

講演要旨

1. 「教える」の2つの意味 I.Scheffler

A. 意図的用法(intentional use)

教える(指導する)とは、教える者が、教えられる者を変化させることを意図して、教えられる者に働きかけること。意図的教育観

B. 成功的用法(success use)

教える(指導する)とは、教える者が、教えられる者に意図的に働きかけて、教えられる者を変化させること。成功的教育観

*教育(指導)方法の改善のためには成功的教育観に立たなければならない。意図的教育観に立つとすれば、その指導内容について知識や技術のある者なら誰でも指導が可能であり、特に指導の方法を考える必要がないからである。

*ここでは主として指導という言葉を使ったが、教育、教授、授業などと言い換えてもよい。

2. 指導目標の明確化

明確な指導目標とは、次の3つの要件を満たしている目標である。

行動 指導の結果学生に期待される変化としての外部から観察可能な行動。

*目標が～～できる、～～するというような外部から観察できる行動として明記されていない限り、指導の目標が達成されたかどうかを判定することは、不可能である。

条件 学生がその行動が行う場合の条件。

基準 学生に目標行動が可能になったかどうかを判定する基準。

例

不明確な目標 指導目標明確化の方法を理解する。

明確な目標の例 1

「明確な指導目標の3つの要件のリストを見ないで、」{明確な目標の要件が言える。}[ただし、要件とは行動、条件、基準の3つである。]

明確な目標の例 2

「明確な指導目標の3つの要件のリストを見ながら、」「与えられた未知の」目標がその3つの要件を満たしていない場合は、{明確な目標に書き直すことができる。}[ただし、3つの要件とは、行動、条件、基準である。]

* 「」は条件、{ }は行動、[]は基準。

*不明確な目標を明確にする場合、対応する明確な目標は1つとは限らない。そのうちどれを選ぶかは指導者が決定することになる。「目標のよさ - 目標の妥当性」参照。

3. よい指導とは？

「よい指導」の「よさ」は、目標の「よさ」と方法の「よさ」に分けられる。

3-1 目標のよさ - 目標の妥当性、必要性と可能性。

a. 必要性

- a1. 指導することがぜひとも必要である。
- a2. ぜひとも必要というのではないが、指導することが望ましい。
- a3. 指導する必要はない。特に指導しなくても学生はできるであろう。

b. 可能性

- b1. 現実の条件の下で、目標を達成することは可能である。
- b2. 諸条件の制約があり、目標の達成はあまり期待できない。
- b3. 現実の条件の下では、目標の達成は不可能である。

* 目的達成の必要性と可能性は、学院の教育と臨床実習指導とは同じではない。

3-2 方法のよさ - 方法の効率性。 効率性は、効果と能率に分けられる。

効果：目標達成の度合い。

能率：目標達成に要する時間・労力・経費及び満足度。

* 指導の効率は、学生・指導者・指導時間・施設設備などの関数である。

以上

質問への回答

質問者 A

質問

レポート作成時に一般常識的な事柄(謝辞がない、絵文字を書いている)などが出来ていないことを指摘したところ急に実習生が泣き出してしまった場合、書き方を指導したものの本人は実習その物を指摘されたと受け止めてしまったようだがどのように指導していくことが望ましいのか。

回答

この程度の能力しかない学生に、先生はどのようなコミュニケーション能力を期待しているのか。そのことが明確な指導目標として書かれていないので、私としては、誤解だということを説明してやるしかないでしょうとしかお答えできません。

なお、私は現在リハビリを受けている患者なので、その立場から言うと、こういう学生が患者との言語的コミュニケーションが重要なセラピストになりうるのか、なっているのか、むしろ方向転換を勧めてやるほうが、本人のためにも、彼(彼女)が将来担当するであろう患者のためにもベターではないかと思いますが、どうでしょうか。

質問

実習内容や態度に対して時系列に沿って詳細に説明をしたところ、学生が多くの情報を処理できず混乱してしまった場合の対処方法はどのようにしていくことが望ましいのか。

回答

質問が漠然としていてどう回答していいかわらないのですが、説明のやり方を変えてみてはどうでしょうか。一度に多くの情報を与えるのではなく、途中で質問するなど、学生の理解度を確かめながら説明していくとよいでしょう。

質問者 B

当施設は3～5年目までの作業療法士が常勤として働いています。昨年より実習生を受け入れるようになりました。スタッフ一同日々悩みながらの実習指導となっております。そのため今回の講習は待ち望んだものでした。

以下に質問事項を記載させていただきます。よろしくお願い致します。

質問

前日の課題を消化できなかった場合、次の日はどうすればいいですか。

レポートの手直しやレポート提出を指示していたが、それができず、「まだ終わってません。」と昨日と同じレポートが出てきてしまうような場合があります。また、評価が予定日よりかかってしまい、レポートが完成しきれないような場合があります。

そういった時には次の日やその後の方向性はどうしたらよいのでしょうか？

回答

具体的な状況が分からないので、自信を持って回答できないのですが、一般的にはこういう事態が起こる原因を明らかにしてそれを除去することです。

質問

評価・インターンの各実習において学生にはどこまでの知識・技術を望めばよいのですか。各学校からの実習についての指導内容等が配られますが、生徒によって知識・技術レベルが異なります。どこまでの知識・技術が必要なのか悩んでいます。

回答

学生に望む知識・技術は、指導者が決めることでしょう。その場合、講演要旨の3, 必要性和可能性について考慮することを忘れないでください。

質問

実習中止の客観的ポイントはありますか。

質問 でも記載してありますが、レポートの未提出や手直しをしてこない、その他フィードバックをしているときに逆ギレしてしまう学生もいます。そういった学生は中止にしてもよいのでしょうか。

回答

学生が将来患者の治療に当たることを考えれば、私は中止にしてもよいと思います。

質問者 C

質問

待つことと介入のタイミングが難しいことがある。実習者が答えを出したり、反応するまで待てず、どちらかという指指導者側が一方向的に教えるという形になりやすい。(自分の教育・指指導面での苦手さと思いますが。)

回答

これは質問ではなく、質問者の反省ではありませんか。ご自分で「実習者が答えを出したり、反応するまで待てず、どちらかという指指導者側が一方向的に教えるという形になりやすい」ということがわかっているのですから、そうならないように常に注意を怠らないことです。

質問

自習者の自己評価と指指導者側の評価が食い違うことがある(自己評価のほうが高い)。フィードバックはどのような方針が良いか？

回答

自習者の自己評価が不当に高い場合には、先生が不当と思われる理由を説明してやるのがよいでしょう。その場合、学生に反論の機会を与えることが必要です。

質問者 D

質問

学生の一般的なコミュニケーション能力が不足していて、患者様との会話や指導者との会話も十分でないように感じます。どこを見極めて指導すれば良いでしょうか。

回答

「どこを見極めて」の意味がよく分かりませんので、ご質問への回答になるかどうか不安ですが、Eさんが「学生の一般的なコミュニケーション能力が不足していて、患者様との会話や指導者との会話も十分でないように感じる」のは、具体的にはどういう場合なのでしょう。講演要旨の2と3を参考に具体例を検討すれば対策も見えてくると思います。

質問

また、途中で実習を辞めてしまう学生がおり、こうした生徒に対する対策はありますでしょうか。元来のモチベーションにも関わるとは思いますが、同じ職種を目指す仲間として残念に思うことがありましたので。

私は、学生が慣れた頃に自分が実習中に学びたいことを直接尋ねるのですが、目的を絞ったものの方が学生自身の学びの方向性が明確になって良いのでは？と考えますが、先生はどのようにお考えでしょうか。

回答

「目的を絞ったもの」というのは、「目的を絞った質問」ということでしょうか？もしそうだとすれば、「自分が実習中に学びたいことを直接尋ねる」というのも、「目的を絞った質問」と言えるのではないのでしょうか？また、Eさんが「目的を絞ったものの方が学生自身の学びの方向性が明確になって良い」とお考えになる理由はなんでしょうか？

以上、私の疑問に答えたくらうえで、あらためて質問していただきたいと思います。

質問者 E

まだ、見学実習しか引き受けておらず、今後評価実習、インターンと長期の学生を引き受けていくにあたり、疑問点があります。

質問

学生に答えを考えてもらい、自身で答えを導き出してもらうことの難しさを感じます。どこまでこちらで補助したらいいのかに迷ってしまいます。

回答

具体例が書かれていないので、私も抽象的にしか答えられませんが、お勧めしたいのは、小刻みに問いかけ、その答えの正誤と理由をすぐ知らせてやる方法です。

質問者 F

質問

OTという国家資格は、資格取得と同時に患者様や利用者様の担当をし、セラピスト個人の能力が大きく影響を与える立場となります。

現場に立った時、技術をマスターするのは時間がかかるとしても、社会人としての礼節や、对患者様、対スタッフなどへの対応が重要になると考えています。

本当に些細なことが相手を不快にさせている現実や、相手を思いやる気持ちなど、対人関係をスムーズに行なうための指導ポイントを教えてください。

回答

まず、「対人関係をスムーズに行える」という目標を講演要旨の2に基づいて明確にしてください。また、Gさんが考える明確な目標が講演要旨の3の必要性和可能性のどれに当たるかを検討してみてください。それによって指導のポイントもかなりはっきりするはずです。

質問

実習は最後に担当患者様の評価やリハビリプログラムをレポートでまとめて提出する流れとなります。より患者様へ視点を向けてもらう為、課題は学校側から言われている最低限の課題内で収め、睡眠時間の確保をしています。

しかし、実習前の準備不足からくるものなのか、それでも実習生が追い込まれてしまい思考回路がフリーズしてしまうこともあります。フリーズしてしまう前の対策と、なってしまった後の対策は何かあるでしょうか？

分かりづらい文章になってしまい申し訳ありません。

回答

私はOTの実習がどのように行われるのか、その実際を知りません。またご質問が具体性を欠き、漠然としているので、的確にお答えできないのですが、「課題は学校側から言われている最低限の課題内で収め」、「しかし、実習前の準備不足からくるものなのか、それでも実習生が追い込まれてしまい思考回路がフリーズしてしまう」という点を具体例を挙げて質問していただければ、もう少しましな回答ができるかも知れません。

質問者 G

質問

実習生のレポートへの指導方法について

実習生がレポートを書く際、私は検査値に対する考察や作業療法の評価方法、評価の結果から問題点を抽出し治療計画を立てるか、などさまざまな視点で学生の指導を行っていますが、文法や敬語、日本語の表現方法の修正に終始する 경우가多く指導というよりも添削になっているように思います。

また、指導を受けた学生も、作業療法の考え方や治療の流れを自分なりに理解し考察するというよりも、指導者の添削に対しそのまま修正する、という姿勢でいるようです。学生指導に対する経験が少なく、学生が自分なりの考察を行えるよう促していくことができていないように思います。

効果的な指導法があればお教えいただきたいと思います。

回答

「文法や敬語、日本語の表現方法」の指導も大切だと思いますが、実習レポートの指導ではもっと重要な目標があるのではないのでしょうか。私は作業療法の実習について十分な知識がありませんが、この質問を読んだだけでも「検査値に対する考察」、「作業療法の評価方法」、「評価の結果から問題点を抽出し治療計画を立てる」ことなど、さまざまな指導目標があるようです。これらの目標をそれぞれ明確な形に書き直しておくと、レポート読んだときにその学生がどの目標についてさらに指導が必要かが分かるし、指導方法の手がかりも得られると思います。

質問者 H

質問

最近の学生はどのような教育を受けて今まで(大学生)育ってきているのでしょうか。医療分野に限らず、日本全体の流れが知りたい(ゆとり教育やその後の流れについてなど)

回答

この質問に真面目に答えようとするれば、1年ぐらいかけて1冊か2冊の本を書かなければなりません。Kさんがなにを聞きたいのか、焦点をはっきりさせて再質問することをお勧めします。

質問

「最近の学生は…」という話を養成校の先生方から聞く機会があるのですが、例えば10年前と比べてそんなに違うものなのでしょうか。

回答

私は大学で50年あまり教壇に立ってきました。その間これと同じ質問を何度か受けましたが、私はいつも次のように答えてきました。昔の学生と今の学生とで特に違いを感じません。60年前私が大学生だったときにも年号が平成に変わってからも優秀な学生もいましたし、駄目な学生もいます。昔と変わったと言えば、今の学生は昔に比べて出席率が良くなったことです。

質問

指導する側がまだ経験や知識などにおいて不十分な面を持っている場合、どのような指導の仕方をすればいいのでしょうか。

回答

自分の経験や知識が不十分であることを自覚して、それを学生の前でごまかさないことです。もちろん不十分な点を改善する努力が必要なことは言うまでもありません。

質問

学生が何を求めているのか、どのような状況にあるのかがうまくつかめず気になる場合、どう関わっていけばいいのでしょうか。

回答

私は率直に学生に尋ねてみることをお勧めします。ただし、その回答に対して批判的な対応をしないことが肝心です。